

パブリックコメントの実施結果をお知らせします

令和6年12月16日から令和7年1月6日までの期間にパブリックコメントを実施しました。お寄せいただいたご意見の概要及び町の考え方をお知らせします。

計 画 名	提 出	件 数	問い合わせ
第3期田布施町子ども・子育て支援事業計画	2	2	町民福祉課 ☎0820-52-5810

■ご意見と町の考え方の概要

No1-1	[意見の概要] 〈保育園について〉 ●保育園 冬季の水筒 冬の水筒持参について、ほとんど飲んでおらず中身を捨てることが多いようです。食事の時には麦茶を出してもらえるのですが、冬季だけでも、必要な時に保育園で飲むようにはできないでしょうか。 (現在通っている家庭からの意見) ●お昼寝の選択制 年中から寝るか寝ないか自分で選べるようにしてもらえたら嬉しいです。 昼寝が多くて、元気がありあまっているので、夜の寝かしつけが本当に大変です。 (現在通っている家庭からの意見) ●普段の活動がみれる参観日を！！ 子どもたちの普段の様子がみれたら保護者望んでいます。 参観日をわざわざ、プログラムを組みイベント化しては先生も本当に大変だと思います。少人数ずつ、希望日に来ていただくスタイルはいかがでしょうか。 ●公立保育園やおんともで幼児に（特に離乳食時期や1・2歳児）にお菓子（甘いお砂糖たっぷりのもの）を与えるのはやめてほしい。 味覚が大人より何倍も多い時期にお菓子を与えると食事への意欲や好き嫌いに影響が高いです。おやつは果物や、おむすび、ふかし芋、干し芋、せめてうすあじのおせんべいなどにしてほしい。ヤクルトやジュース、スポーツドリンクなどの 果糖ぶどう糖液糖 が多く含まれた飲み物もやめて欲しいです。虫歯の原因になるほか、体力低下につながります。また、食事中の過度な水分補給（お茶・水）は唾液の分泌が減り
-------	--

	ます。食事中ではなく食後に飲ませてください。これは私個人の意見ではありません。歯科医や栄養士さんに聞いてください。子ども・子育て支援に関するニーズ調査にて「子育てに関して困っていることや悩んでいること」 子どもの食事や栄養に関すること が1位でした。 赤ちゃんの頃からお菓子漬けにしなければ、この悩みは減ると思います！ ●させられるプログラムが多すぎる。 運動会やお遊戯会の必要性について。特に3歳未満については、無くてもいいと思います。お兄さんお姉さんのを見るだけでも刺激になる。その分自由に遊ばせて欲しい。 ●教育の多様性 全国的には、幼児期は人間形成の一番大切な時期ということで幼児期の保育が見直されています。園庭に砂山をつくったり、自分たちで工作できるコーナーがあったり、プロジェクト学習をしたり。森のようちえん式の保育もこの10年で300件と増えてきました。これからの時代を生き抜くための保育・幼稚園環境をいまいちど見直していただきたいです！ [回答・説明] 担当（保育園等）に意見を伝え、今後の保育の参考とさせていただきます。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。
No1-2	[意見の概要] 〈ポコ・ア・ポコについて〉 ●午前だけでなく午後も開所しているとよかった。（過去形なのは、現在利用していない為） 不登校の中学生が1人で行った時、親同伴でないとだめだと帰された話を聞いた。居場所として受け入れてあげるべきだったと思う。 [回答・説明] ポコ・ア・ポコへ意見を伝え、今後の取り組みの参考とさせていただきます。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

〈小学校について〉

●算数セットは学校所有にしてほしい 新1年生になる前に、お名前書き地獄がまっています。親には春休みはありません。新1年生にはできない 細かい仕事です。算数セットなど使う期間が短いのにかかる労力が大きすぎます。学校の所有物にし、利用時は個々で大切に使い、2年間たったあとは、そのまま下の学年にお下がりして使って欲しい。(中の消耗品は個人購入でも) そうすることで・名前書きの手間なくなり、資源の有効活用にもつながります。算数セットを1人1つずつ全国の子供達が所有しないといけないのは、使う時期も限られているのにもったいないことです。

●制服について 上下揃えると3万円くらいかかる。サイズ変われば買い直しです。そして指定の白い靴。防寒用に地味な上着に地味なジャージ。それらは私服のときには、着たくない子ども。大人より衣装代がかかります。靴・上着やジャージは華美なものでは、なにがいけないのでしょうか。制服はある程度求める声もあるでしょうが、靴や上着、ジャージなど選択の自由化を求めます。ランドセルがカラフルになってなにか困ったことがあったのでしょうか。寒いときに着る上着やジャージくらい好きなものを着させてください。周防大島の小学校では白い靴でなくてもいいようになったそうです。また、現在柳井に買いに行くことになりましたが町内のシンタニスポーツさんなどでは取り扱いできないので しょうか。お金が町外に流れていることも気になります。

●プールについて 水着も高級品です。5000円します。子どもを判別するため、頭にかぶる帽子に大きく名前を記入するのは 理解できます。水着への記名(全面に大きく、白地の布で記名)はやめていただきたいです。お下がりするときに跡にのこります。そして回数が少なすぎます。プライベートで着るには抵抗があるよう なのでせめてお下がりしやすいような取り組みをするべきです。

●体操服について 学校のロゴが入っているもの1着2500円もします。高すぎます。また学校が違うとお下がりできないデメリットがあります。ロゴなしでもいいノーブランド品にしてください。1500円で買えます。

●放課後について 一度帰宅せず、学校の校庭でそのまま遊べるようにしている学校があります。希望者は、年度始めに申し出をして、保護者と子どもが決めた時間に保護者が迎えにくるというスタイルです。見守りスタッフがついて いる学校もありますが、教員や教育委員会はノータッチ。というところも多いです。子どもたちが一度家に帰って遊びに行くことは、できる家庭とそうでない家庭に分かれています。そして一度帰宅して遊びに行く子どもたちは ゲームを持参して公民館などに集って

いるそうです。遊びは、心と身体とコミュニケーション能力を育む、大切な時間です。ゲームはユーチューブ漬けにしているのは環境のせいです。どうか、未来の大人たちになる現在の子どもたちを臍抜けにしないでください。変えられるのは環境です！

●給食について 1年生の食べる時間が短すぎます。残ったら捨てる。それを当たり前に見せないのが大事だと思います。毎日の積み重ねで人間は出来上がっていきます。以前田布施の中学生が馬島に海水浴に来て、食べられなかったコンビニのおむすびをそのまま捨てて帰っていました。まだ、食べられるのに、です。信じられませんでした。時間内に食べられなかったら捨てるという現場をみていたら、それに倣っただけかもしれません。食事は楽しく、食事に感謝しながら味わう時間であって欲しいです。

●牛乳の選択制について 大人になったら、味噌汁と牛乳を飲みますか？カルシウムを取る為に牛乳が必須なのかもしれませんが 牛乳は体質に合わない子もいます。診断書を書いてもらうほどでなくても 飲んだあとおなかがゆるくなったり。乳牛に使われるホルモン剤や抗生物質、残留農薬の影響も気になります。また、鉄欠乏性貧血の一因にも。牛乳は、選択制にするべきです。

●ランドセルについて 重い・出し入れがしにくい・高価すぎる（2万円～8万円以上）為、学校側から、リュックなどでも可能などと提示してほしい。

●ノートについて 随時学校で買えるようにしてほしい。足りなくなったノートが何マスなのか何ミリなのか、たてなのかよこなのかバリエーションがありすぎて、田布施町内で買えないことも多い。親の負担が大きい。名札みたいにノートも売店において欲しい。

●雨の日 ひろびろと遊べる場を。雨の日の休日、行ける場所がなくて困りました。

●子どもたちが自由に行き来できる居場所づくりを。こどもだけでも行ってもいい、外遊びや、工作、室内遊びなどできる場所をつくってほしい。来年度、田布施町観光協会の事業のひとつとして、冒険遊び場プレーパークというものを月に1回開催する予定ですが、できれば毎週、週3回など開催したいです。個人がボランティアで行うのは無理がありますので、萩市や宇部市のように行政主体で取り組んでいただきたいと思います。今年の夏休みに小学生のクラス会をしようとしたところ 平日はクラスメイトの9割の保護者が仕事で、子どもは家などにいることが多いことがわかりました。せっかくの夏休みや長期休み、スマホやゲーム漬けになっているのだとした

	ら本当にもったいないです。昼夜逆転して、不登校にもつながってくることもあるのではないのでしょうか。子どもたちが自分で行き来できるような場所で、居場所づくりを進めていただきたいです。子どもたちだけではなく、保護者や地域の方の居場所としても。田布施で育ってよかった。田布施は子育てしやすいそう！そんな居場所になると思います！子ども・子育て支援に関するニーズ調査のなかに〈充実を図ってほしい子育て支援〉「子連れでも出かけやすく楽しめる場所が欲しい」というのがアンケート結果1位でした。まさに求められているのはそのような場所なのです！堅苦しくなく、いつでもいい居場所。おもちゃのとりあいや、順番めかしなどで子どもも親も窮屈になるおもちゃあそびではなく、数が豊富な自然の中での遊びが親も子どもものびのびと過ごせます。そして体力もつきます。 参考：冒険遊び場プレーパークhttps://bouken-asobiba.org/ 動画 ●田布施西小が実行している『ポジティブ行動支援』を各学校でも！テレビで拝見いたしました。1年前から全校規模で取り組んでおられるとのこと。だめな部分ばかり注意を向けるのではなく、素晴らしい行動ひとつひとつ丁寧に拾い上げて認めたり・褒める方式です。例えば、「話している人のほうに身体をむけて聞く」ことが出来ていたら「すばらしいね。気持ちがいいね」と声をかける。子どもたちの様子が変わってきたそうです。ぜひ、町内の小学校全てで取り組んでいただきたいです。 [回答・説明] 担当（教育委員会等）に意見を伝え、今後の参考とさせていただきます。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
No2-1	[意見の概要] 〈計画の指標について〉 「量の見込みと確保方策」については、令和11年度までの数値目標がきめ細かく出ていますが、「第7章 計画の推進」の「4 計画の指標」については、令和5年度の現在の実績から令和11年度の目標へは「上昇」や「低下」で済ませ、数値目標は出ていません。 1年毎の数値目標とは言いませんが、できれば、令和9年度までにはこれだけの数値目標、そして令和11年度には最終目標値を掲げていくといいのではないかと思います。

	[回答・説明] 計画の成果目標として、最終年度までに各指標に於いて 100%を目指してまいります。関係各課と連携を図りながら、取り組んでいくこととなりますが、令和 11 年度の目標の「上昇」「低下」という表現がわかりにくいいため、令和 11 年度目標は、目標値 (%) にします。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
No2-2	[意見の概要] 〈高齢者の集まりに子育て世代が子ども連れで参加する企画〉 私の持論としては、高齢者や障がい者、健常者といろんな立場の多くの人交流し、意見を交換しながら、理解し合うことが大事（大切）だと思っています。そのためには、インクルーシブ教育の推進やインクルーシブ公園の設置、そして、イベントなどには子どもや障がい者をターゲットにした取組が望まれます。スポーツ祭りやロードレースだけでなく、障がい者スポーツが多く耳目を集めています。 そういったことをいつも念頭に置きながら取り組んでいけば、自ずとその周りの親や支援者も集まりますから、その人たちも楽しめることも考えていけば、いいのではないかと思います。そんな場に、ボランティアとして多くの中高校生も参加すると更に賑やかになります。関係人口を増やすために、馬島が先進的にやっている町外からもリピーターとなる助っ人を募集してもいいです。 馬島のキッズチャレンジは、好例です。 今、核家族世帯が多くなり、三世代で住んでいる家族は少なくなっています。お婆ちゃんやお爺ちゃんの知恵がありながら伝わらないことにもどかしさを覚えます。生きがい教室や生き生きサロン、オレンジカフェ等の高齢者の集まりに、子育て世代が子ども連れで参加する方向で考えて欲しいです。 学校の空き教室を使っの新しくそんな集いも企画しませんか？ 高齢者の脳の活性化にもつながりますから、認知症の予防にも繋がります。 例えば、昔の遊びや料理教室、歌声喫茶等いろんなことが考えられます。 多くの人にアイデアを募集すれば、もっと出てくると思います。 [回答・説明] 関係各課に伝え、今後の参考とさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。